

北前船の湊町・敦賀から小樽への船旅

7日間



集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・7日間】 10月12日(日), 26日(日)	
新日本海フェリー:デラックスBツイン利用 (外側、14㎡)	¥378,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥40,000にて承ります)	
新日本海フェリー:デラックスAツイン利用 (外側テラス付 22㎡、テラス6㎡含む)	¥398,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥45,000にて承ります)	

現地合流プラン:敦賀駅合流(出発)/新千歳空港離団(帰着) 旅行代金より ¥35,000引

1	東京駅 09:20 発⇄ 敦賀駅 12:43 着 旧敦賀港 (旧敦賀港駅跡、●敦賀ムゼウム) ⇄ 河野北前船集落 (北前船主の屋敷 ●右近家) ⇄ 敦賀 (敦賀泊) □□夕
2	敦賀港 09:30 発⇄ 新日本海フェリーに乗船(途中、天候が良ければ、能登半島を望むことができます。夕食は、船内 Grill にて「洋食のセットメニュー」) ⇄ 新潟港 21:30 着 【2連泊】(新潟泊) 朝 □ 夕
3	新潟 09:00 発⇄ 出雲崎町(長屋妻入りの建物が残る町並みを散策。○良寛堂、○芭蕉園などを見学後、昼食) ⇄ 新潟(北前船時代の新潟を紹介する●新潟市歴史博物館、○古町界隈を散策。夕食は、かつての花街「古町」にある割烹「蜆」にて、芸妓の踊りと共にいただきます) (新潟泊) 朝 昼 夕
4	チェックアウトの 11:00 まで、自由行動。 新潟 11:00 発⇄ 村上(昼食は、村上名物「鮭」を使った料理を用意。午後、古い町並みを散策します) ⇄ 新潟港 19:00 乗船(船内 Grill にて夕食です) 新潟港 22:30 発⇄ (船中泊) 朝 昼 夕
5	秋田港 05:05 着⇄ ホテル(朝食) ⇄ 男鹿半島 (●なまはげ館、●男鹿真山伝承館、○入道崎、○寒風山展望台、○五社殿など、北前船ゆかりの史跡も含めてご案内) ⇄ 秋田(藤田嗣治のコレクションで知られる●秋田美術館、竿灯まつりを紹介する●ねぶり流し館をご案内) (秋田泊) 朝 昼 □
6	秋田港 06:15 発⇄ 津軽海峡を船で横断(男鹿半島を見ながら津軽海峡へ。竜飛岬、下北半島、恵山岬を回ります。内浦湾に入り、夕刻、苫小牧へ) ⇄ 苫小牧東港 16:45 着⇄ 小樽 18:30 着 (小樽泊) □ 昼 夕
7	小樽(松前、江刺と並び、北前船の目的地となっていた小樽を高野宏康氏の案内で散策します。●小樽市鎌御殿、○小樽運河、●小樽市総合博物館運河館など。その後、昼食) ⇄ 小樽駅 12:53 発⇄ 新千歳空港 14:06 着 15:30~16:00 発⇄ 羽田空港 17:10~17:45 着 朝 □ □ ご自宅までお荷物を託送します。

■集合、解散に便利列車のご案内
【大阪駅発、京都駅発】 往路:大阪駅 11:12 発、京都駅 11:40 発 (JR 特急サンダーバード 19 号) ⇄ 敦賀駅 12:33 着 復路:新千歳空港 16:10 発 (日本航空 2010 便) ⇄ 伊丹空港 18:05 着
【名古屋駅発】 往路:名古屋駅 11:19 発 (新幹線ひかり 637 号) ⇄ 米原 11:47 着、11:56 発 (JR 特急しらさぎ 53 号) ⇄ 敦賀駅 12:26 着 復路:新千歳空港 17:00 発 (全空日 712 便) ⇄ 中部国際空港 18:45 着

- 最少催行人員:12 名様
- 食事:朝食 5 回、昼食 4 回、夕食 5 回
- 添乗員:東京駅ご出発時から、羽田空港ご到着時まで同行します。
- ホテル:敦賀/ホテルグランビナリオ TSURUGA (洋室)、新潟/ホテル・オークラ新潟 (洋室)、秋田/秋田キャッスル・ホテル (洋室)、小樽/オーセントホテル小樽 (洋室)
- 利用予定バス会社:敦賀海陸運輸、越後交通、秋田中央交通、北海道拓殖バスまたは同等クラス
- 利用予定航空会社:日本航空、全日空 (普通席)
- 利用予定運送機関: JR 快速「小樽〜新千歳空港」普通車



小樽の繁栄を象徴する小樽運河の倉庫群
©小樽観光写真ライブラリー

新潟での滞在中には、今でも北前船時代の町並みや、文化の残る古い港町を訪ねます。一つは、佐渡金山の積出港としても栄えた出雲崎。越後の長屋建築の古い町並みが今に残ります。松尾芭蕉が「奥の細道行脚」で立ち寄り、「荒海や、佐渡によこたふ天の河」の句が詠



長屋建築の町並みが残る、出雲崎町



秋田といえば、「なまはげ」 男鹿半島を訪ねます

日本海、瀬戸内海航路で商売をしながら蝦夷地(北海道)を目指した「北前船」。北海道からの帰りの最も重要な商品は、昆布とニシンだったと言われます。昆布は特に関西で珍重され、現在の出汁の文化が定着。ニシンは主に肥料として取引されました。江戸時代には、松前、江差と箱館が中心となり、明治以降に寄港地として急成長したのが小樽でした。小樽運河沿いの旧北浜地区倉庫群、現在は日和山の上に移築された小樽市鎌



「プレミアムガイド」高野宏康氏
小樽商科大学客員研究員、北前船研究活用ネットワーク代表、おたる案内人マイスターとしても活躍。

越後の湊町、出雲崎、村上へ



北前船で栄えた時代を偲ばせる古町の町並み
©新潟県観光協会

まれた地としても知られます。そしてもう一つは村上の町。古くは平安時代には、すでに京都に献上されていたと言われる塩鮭は、村上藩の重要な財源として、北前船でも取引されていたとのこと。現在も、当時の鮭問屋の建物が残り、その景観は出雲崎と共に重伝建に登録されています。

「なまはげ」と北前船の文化が残る、男鹿半島

「なまはげ」で知られる男鹿半島には、多くの北前船関連の文化財が残っています。秋田周辺の日本海岸は砂浜が多く、入り江の多い男鹿半島は風待ちの入り江、湊が多く点在していました。通常の

ニシンを求めて北前船が目指した地、小樽

訪問では「なまはげ」の文化を中心に訪ねますが、今回は北前船の文化財も含めて、男鹿半島の歴史をご紹介します。

「北前船」の講演や同行説明もあります

「北前船」をテーマとする今回の旅では、全国各地で北前船の講演や、シンポジウムに登壇している小樽在住の高野宏康氏に同行いただけることとなりました。10月12日発のコースでは、2日目、3日目と7日目に、10月26日発のコースでは、5日目〜7日目に同行し、案内いただける予定です。日本海を行くフェリー船上での講演や同行解説などで、日本遺産となっている「北前船と寄港地」を、わかりやすく紹介いただきます。

御殿(旧田中福松邸)などを、小樽在住の「プレミアムガイド」高野宏康氏にご案内いただきます。



新日本海フェリー

かつて人と物、文化が行き交った現代に蘇る「北前船」の航路で旅する

― 村上の鮭のシーズンに合わせました ―



函館、横浜、長崎、神戸と並び、幕末から明治時代にかけての開港 5 港の一つに数えられた新潟港。日本海側の北前船の最大の寄港地としても栄えた歴史の町でもあります。新潟の歴史を紹介する新潟市歴史博物館や、かつて花街として栄えた古町周辺を散策します。また、夕食は古町に残る料亭にて、「古町芸妓」の踊りを見ながらの夕食を用意。北前船によって生まれた新潟の「おもてなし文化」を体験いただきます。

新潟では古町界隈に残る、花街文化に浸る

「命のビザ」で知られる杉浦千畝を紹介する博物館など、見どころ豊富です。そして敦賀湾の入り口には、かつての北前船主の屋敷「右近家」のある河野集落があります。



当時の様子そのままの「右近家」

新日本海フェリー

かつての「北前船ルート」を、生まれ変わったフェリーで旅する

今回利用する「新日本海フェリー」は、2 名 1 室、バス、トイレを完備したデラックスルーム、レストランやカフェ、さらにはコース料理を提供する Grill や、大浴場、サウナまでを完備しています。今回はデラックスキャビンを限定利用してご乗船いただきます。このルートは敦賀港から能登半島を見ながら新潟港へ。そして秋田港から津軽海峡を通過して苫小牧東港までと昼間の終日航海日が 2 回あり、船上からの眺めや船旅の良さをお楽しみいただけます。



(左)デラックスAツイン船室。テラス付です
(右)コース料理専門のGrill。夕食はGrillで用意しております

■各コース共通の旅行条件とご注意

■宿泊施設は特に明記してあるものを除きバスタブ・トイレ付きのお部屋です(大浴場などの施設がある場合、シャワーのみ、あるいはバスタブ・シャワーなしのお部屋となる場合があります)。 ■お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金にて承ります。その場合は洋室シングルルームまたは和室となります。 ■旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって14日目にあたる日以降の現地合流、離団はお受けすることが出来ませんので、なるべく早めにお申し出ください。 ■キャンセル料半額制度は国内旅行の場合適用外となります。ご注意ください。 ■マークの説明 ✈=航空機 🚆=列車 🚌=バス 🚗=自動車 朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 □=食事なし ●=入場観光 ○=下車観光

ご旅行条件(抜粋)

●この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

1. 旅行のお申込み・予約・旅行契約の成立

- (1) お申込みは、当社にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入のうえ、申込金(40,000円又はパンフレットに明示した場合はその額)を添えてお申込みいただきます。
- (2) 当社は、電話、ファクシミリ、インターネット、Eメールその他の通信手段による旅行契約の予約を承ります。この場合、旅行契約は、予約の時点では成立しておらず、当社が旅行契約の締結を承諾した旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金のお支払いをさせていただきます。この期間内に申込金のお支払いがなされない場合、当社は、予約はなかったものとして取り扱います。
- (3) 旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。なお、お支払い対象旅行代金や、申込金をクレジットカードを利用、自動引き落とし方法でのお支払い方法を選択されたお客様との旅行契約は、当社が契約の締結を承諾する旨のメールがお客様に到達した時に成立します。旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以降にお

申込みの場合、旅行開始日前の当社が指定する期日までに支払いただきます。

3. お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

4. 旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ ホテル等の宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。) 及び税・サービス料金
 - ⑤ その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの)
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

5. 旅行代金に含まれないもの

- 第4項の他は、旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) クリーニング代、電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付けその他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

(3) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」

(4) ご希望者のみ参加されるオプションツアー(別途の小旅行)の料金

6. 取消料について

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことによりいつでも旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目(日帰り旅行にあっては10日目)に当たる日以降8日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降2日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の30%
旅行開始日の前日に解除するとき	お支払い対象旅行代金の40%
当日(旅行開始前)に解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%
貸切船舶を利用するとき	当該船舶に係る取消料規定による

ご旅行条件は、2025年5月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施  **ワールド航空サービス**

WEBも
どうぞ 

ワールド航空
https://www.wastours.jp

検索 

営業時間 / 月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)
 **ボンド保証会員**  旅行業公正取引協議会 会員 

- ☐ **東京支店** TEL : 03-3501-4111
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- ☐ **大阪支店** TEL : 06-6343-0111
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹
- ☐ **名古屋支店** TEL : 052-252-2110
名古屋市中区栄3-14-7 RICC0栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

- ☐ **九州支店** TEL : 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- ☐ **札幌支店** TEL : 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- ☐ **湘南支店** TEL : 0466-27-0111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号